

矢部川浄化センターを見学して

木庭 茉奈

筑後市立 羽犬塚小学校

わたしは、九月十二日金曜日に羽犬塚小学校四年生みんなで、矢部川浄化センターへ見学に行きました。わたしは、よごれてしまった水はどのようなのか、不思議に思うことがあったので、この見学でたくさん学びたいと思って行きました。そこで、よごれた水は矢部川浄化センターに行き、きれいになることを知りました。

矢部川浄化センターでは、よごれた水をきれいにして、川に流す役わりをしています。ここでは、三十四人で二十四時間交代しながら働いているそうです。こんなに少ない人数で、4つの市（筑後市、八女市、みやま市、広川町）が使った水をきれいに行っていることを知って、とてもびっくりしました。川に流すために、よごれた水は、まず最初沈殿池に行き、落ちやすいどろやゴミなどを落とします。次に反応タンクというところへ行き、活性汚泥（微生物の集まり）が汚れを食べて、水をきれいにしてくれるそうです。最初に聞いたときは、あんなに小さな虫がとってもごったきたない水を食べてきれいにくれるなんて、信じられなかったけれど、実際に見て本当にきれいな水になっていたから、とてもびっくりしたし、虫がよごれた水をきれいにしてあげていたことに、虫は、とても大切な役わりをしているんだなと思いました。そして、最終沈殿池に行き、分解して沈みやすくなった有機物を沈めて、処理した水と汚泥に分けます。最後に、水質試験室に行き検査します。ここで、水がどれだけキレイになったか、水を川

や海に流せるかを検査します。そうして、みんなが使った水は川や海に流されます。最終沈殿池で分けた汚泥は、肥料や、セメントの材料として再利用されます。

次に、矢部川浄化センターのすごいところをしようかします。水は、家庭や学校など、たくさん場所で使われます。そのため、きれいな水を使っても、汚れてしまいます。その汚れた水をきれいにしてくれるのが、矢部川浄化センターです。それで、すごいと思ったのは、水をきれいにして、川や海など自然を守ることができることです。さらに、わたしたちの町も臭くならず、清潔に住みやすくなり、安心できる暮らしをむかえられます。

このように、矢部川浄化センターの方々は、わたしたちの町や村をささえてくださっています。この方々がこまらないように、これからわたしは、ゴミや食べのこし、油などを流さないようにして、管がつまる原因にならないようにしたいです。いつも、わたしたちの使った水をきれいにしてくださって、本当にありがとうございます、とお礼を伝えたいです。